



令和5年6月13日

報道関係 各位

名古屋市立大学大学院人間文化研究科

准教授 曾我 幸代

電話:052-872-5154

メールアドレス:soga@hum.nagoya-cu.ac.jp

名鉄観光サービス株式会社

営業推進本部 教育推進部

電話:052-581-5435

メールアドレス:kyoiku_mwt@mwt.co.jp

名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科 曾我ゼミ生と 共同開発した『SDGs マチ探 岡崎編』アプリの開始につきまして

観光地の「マチナカ」を「探索」しながら学べる学習アプリ『マチ探』を全国で展開する名鉄観光サービス株式会社(以下、名鉄観光)は、名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科の曾我ゼミ生と共同開発した『SDGs マチ探 岡崎編』の運用を開始いたします(添付資料)。

今後も、産学連携協力し持続可能な社会づくりに向けて、領域横断的なアプローチを通して、さまざまな教育機会の創出に向けて取り組んでまいります。

記

【共同開発の概要】

開発期間:2022年度

監 修:曾我幸代准教授

(名古屋市立大学大学院人間文化研究科/人文社会学部心理教育学科)

協力学生:3年ゼミ生(2022年度)6名

マチ探は、名鉄観光のオリジナルアプリで、校外学習等の班別行動時の学習ツールとして全国の教育機関向けに展開しており、訪問地がどのようなところなのかをクイズを通して知ることができる体験型の学習アプリです。この度開発した「岡崎編」では、岡崎の地に関する問題だけでなく、それらがどのようにSDGsや持続可能な開発に関わっているのかについての補足説明をつけています。曾我ゼミ生は、実際に岡崎に出向き、どのような問題にするのかを考え、問題・解答およびSDGsに補足説明付きの解説文を作成しました。

以上



岡崎編



名古屋市立大学曾我ゼミ、ゼミ生が作るSDGsマチ探岡崎編！

作成協力：名古屋市立大学 曾我ゼミ

可児 百葉、河内 翠、早川 実希、山中 紗玖良、松井 聡美、平野 勇志



マチ探は名鉄観光オリジナル企画。観光地を歩いて「探索」し、問題を解くことでその地域について学べる体験型アプリ。各地域・関連機関と連携しての地方創生・活性化への取組の1つでもあります。チームビルディングにもお勧めのオープンエア型研修としてもご好評いただいております！

名古屋市立大学曾我ゼミ



私の所属する学部では、特にESD(持続可能な開発のための教育)に力を入れています。世界中で起きている環境破壊・差別・偏見・貧困など、持続することが困難な状況を少しでもよくするように、誰もが幸せに暮らせるように、どう貢献できるのかについて考えていきましょう。

舞台は岡崎の街

歴史と様々な文化が交差する街岡崎、今回作成していただいた問題は八丁みそや食に関するものから歴史の事であったり地震の事であったり、。範囲は東岡崎駅から岡崎城、カクキューを含む中域の設定！気づきと少し考えさせられる問題設定となっています。

■概要

- ・グループ：5～6名1組を想定
- ・端末・探索マップ：各グループに1式
- ・引率者様：親機をお渡し

■安全対策

- ・端末にはGPS機能・通話機能(※オプション)搭載
- ・親機では各端末の位置情報・解答状況確認
- ・子機への一斉メール、個別メールが可能
- ・歩きスマホ防止対策済み



当日の流れ

音とバイブでお知らせ
マップの指定の場所に行くと端末から様々な問題やミッションが出現します

ゴール
散策しながらクイズに答えています。全問解けなくても集合場所へ

班ごとに
出発



スタート
各チームに専用端末1台と探索マップをお渡します

クイズ
出題



状況把握
引率者様用にお渡しする親機は、それぞれの班の位置やクイズの解答状況を見ることができます

各班の
状況
チェック



各班
集合場所へ



結果発表



クイズにはそれぞれ得点があり、合計点が高いチームが優勝！





他、中部圏でできるマチ探はこちら！

ご当地マチ探： 愛知(犬山)
 +SDGsマチ探：
 愛知(犬山城下町・リトルワールド)
 岐阜(郡上八幡・高山) 石川(金沢)

【問題】
 二十七曲りはくねくねとした
 屈折の多い道となっています。
 その理由の一つは防衛のため
 ですが、もう一つは何でしょう
 か。

- ①長い道に店舗をたくさん作り、街を繁栄させるため
- ②街道の工期を長くして工事費を稼ぐため
- ③複雑な道にすることでスピードが出せなくなり、事故を防ぐため



協力:名古屋市立大学 曾我ゼミ

岡崎 問題

【回答】
 ①長い道に店舗をたくさん作り、街を繁栄させるため

【解説】
 徳川家康の江戸入りの後に岡崎城主となった田中吉政は、東海道を城下町に引き入れて、くねくねとした屈折の多い道筋「二十七曲り」を作りました。これは城下防衛とともに、街道筋に店舗を並べて旅人たちにとどまらせる経済効果を狙った道として作られました。このように、街に店舗を増やし活気づけるという試みは、現代でも活用できる可能性があります。

<<SDGs目標>>



協力:名古屋市立大学 曾我ゼミ

岡崎 回答・解説

～ One meal by Walk ～



マチ探をする事で参加費の一部を国連WFPのレッドカップキャンペーンを通じ、途上国の学校給食支援として寄付します。世界には学校に通う事すらできない子どもが5900万人いると言われています。給食を無償で提供する事で学校へ通える子どもも増え、大きな支援に繋がります。

お勧め立ち寄りスポット

カクキュー八丁味噌



写真提供:岡崎市

江戸時代から続く老舗味噌メーカー「カクキュー」は、本社屋と史料館が国の登録有形文化財に登録されており、仕込み用の蔵を利用した史料館では、昔ながらの味噌づくりの様子を紹介。八丁味噌と赤出し味噌のお味噌汁を試食して味比べもできます。現在も仕込みに使っている直径6尺もある巨大な木桶が並ぶ味噌蔵は圧巻！

三河武士のやかた家康館



写真提供:岡崎市

三河武士のやかた家康館では、家康公の出生から天下統一までと、それを支えた三河武士達を、常設展で5つのコーナーに分けて解説しています。特別展示室と1階展示室では季節に応じた企画展を開催。また館内には甲冑の試着体験や刀や兜の重さを体験できるコーナーもあります。